

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	認知症高齢者支援の推進					所管	福祉部	
							介護予防・地域支援課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	173	計画事業名	認知症高齢者支援の推進	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					[事業開始] 平成18年度	
		[小 柱] (4)高齢者の地域での包括的な支援の仕組みづくり					[終了予定] - 年度	
		[施策] ③医療・介護連携の推進						
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区認知症高齢者専門相談事業実施要綱等				
	事業対象	認知症高齢者やその介護者及び一般区民						
	事業目的	認知症に関する知識の普及啓発、認知症高齢者を介護する家庭に対する支援などを一体的に推進し、認知症になっても安心して生活できる地域を目指す。						
	事業内容	①認知症高齢者専門相談(月2回 予約制):精神科医師による個別相談 ②介護こころのケア相談(月2回 予約制):臨床心理士による家族向け個別相談 ③認知症講演会(年4回) ④認知症サポーター養成講座(随時) ⑤認知症高齢者を介護する家族のためのサロン ⑥認知症高齢者声かけ訓練(年1回) ⑦認知症支援コーディネーターとアウトリーチチームとの協働による早期発見・早期診断推進事業 ⑧認知症疾患医療センターとの連携 ⑨「認知症備えて安心ガイド(認知症ケアパス)」の作成・配布 ⑩認知症高齢者等早期発見ステッカーの作成・配布						
	委託の有無	一部委託	委託内容	地域包括支援センターによる認知症高齢者を介護する方のためのサロンの開催、認知症サポーター養成講座の実施				
	補助金の有無	都						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値(30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	認知症サポーター養成講座実施回数	回	55	64	43	60	
		セミナー・サロン開催回数	回	34	11	11	11	
	成果指標	認知症サポーター養成人数	人	2,300	850	2,436	1,609	
		セミナー・サロン参加者数	人	830	324	227	232	
	決算額 (単位:千円)				5,627	5,413	5,792	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			16,862	12,651	19,929	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			476	207	505	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			588	576	517	
		総経費			17,926	13,434	20,951	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			4,769	2,903	3,133		
	一般財源(区負担額)			13,157	10,531	17,818		
前回評価から改善した事項	27年9月から区内に設置された認知症疾患医療センターなど関係機関と連携し、認知症の早期発見・診断を推進するとともに、認知症ケアパスの作成・配布、小学生を対象とした認知症サポーター養成講座の実施、行方不明者早期発見のための靴ステッカー配布等の普及啓発により、認知症高齢者を地域で支えるネットワークづくりに努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	新オレンジプランにおいて、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すこととされている。区においても、関係機関と連携した総合的な認知症施策を推進し、認知症の人が適切な医療・介護・生活支援を受けられる体制を構築する。					
	効率性	3	区民向けの講演会に認知症サポーター養成講座を取り入れたり、介護保険課主催の介護の日(11月11日)のイベントを活用して認知症カフェをPRするなど、認知症に関心のある方が気軽に参加できるきっかけづくりを行い、より多くの方に認知症について理解してもらえるよう効率的な運営を行っている。					
	手段の適切性	3	専門家の講演会等による普及啓発活動、精神科医や臨床心理士による予約制の個別相談は、適切な手段であると考えられる。また、行方不明の恐れがある認知症高齢者に対して、情報を登録したステッカーを靴に貼り、警察等と連携して早期発見につなげる方法は、家族にとっても安心かつ有効な方法である。					
	目的達成度	3	区民向けの講演会では一定の参加がみられ、また、小学校5・6年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催したことで、幅広い層へ認知症の理解を深めることができた。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
高齢者人口の増加に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれている。今後は、早期発見・早期対応を行う認知症初期集中支援チームを立ち上げ、その人の状態に合った適切な医療・介護を受けられる体制の構築と、認知症について気軽に話し合える場としての認知症カフェの実施等、認知症の人を地域で支えるネットワークの充実を図っていく。						拡大		